

# 令和3年度 学校関係者評価報告書

学校法人愛輪学園 鹿浜愛育幼稚園

## 1. 教育方針・目標

### 【教育方針】

どんな環境にも適応できる強い意志と創造力を持った人間の基礎は、幼児期に育まれます。本園は、幼児の生活を尊重しつつ、幼児が真に生き生きと意欲的に活動できる環境を整え、健全な心身の発達を助長する教育に努めてまいります。また、すべての命ある物に対して思いやりの心を持つ（生命尊重）ことで、感謝や反省の心を育てます。そして、園の内外を問わずに家族や時には地域の人と共に参加する行事を通して正しい生活をおくり、人格の形成をはかります。また、生きる力をつけるために、体育活動を通して心と体を鍛え、音楽指導により、音楽を通して情操豊かな感受性を育て、協調性と一人ひとりのがんばる力を養います。

### 【教育目標】

- 喜んで集団生活に参加し、自主性を育てる
- 優しい思いやりのある心を育てる
- 健康で安全な基本的生活習慣を養う

## 2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

1. 喜んで園生活を送り、友達や先生との関わりの中で様々なことに興味や関心を持つ。
2. 身近な動植物に親しみを持ち大切にする。また、収穫の喜びを友達や家族の方と分かち合う。
3. 身の回りを清潔にし、衣類の着脱、食事、排泄、手洗い、うがい、消毒など生活に必要なことができるようになる。

## 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	取り組み状況
1.	人間関係	各クラス目標を定めることにより、意欲的に園生活を送ることができた。
2.	自然	ジャガイモの種芋植え、収穫。さつまいもの苗植え、収穫の経験ができた。
3.	健康	新型コロナウイルス感染予防を行うことで、基本的な生活習慣が身に付いた。

## 4. 学校関係者評価の具体的な目標の総合的な評価結果

学校関係者評価を行うことで、教職員の創意工夫が多く見受けられるようになる。そのことにより、子ども達の健全な心身の発達に良い影響がみられる。自ら考え行動し、友達との関わりもより活発になり、園での生活や行事などに積極的に参加できるようになる。今後も学校関係者評価の充実を図りたいと考えている。

## 5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1.	園生活の充実	コロナ禍でマスク着用の習慣が身についてしまっているため、人の表情を汲み取り行動する力に欠けている。感染状況にもよるが、なるべくマスクを着用せずに園生活を過ごしたい。
2.	園行事のあり方	コロナ禍において、今まで出来ていた行事ができなくなってしまった。来年度は感染状況にもよるが、コロナ以前の行事に戻したいと考えている。しかし、園児に歪が出ないかなど確認しながら一気に戻すのではなく、少しずつ戻すよう心掛ける。
3.	感染予防対策	引き続き感染予防対策を行いながら、手洗い、うがい、消毒、必要に応じてマスクの着用など、身の回りの基本的な生活習慣を身につける。

## 6. 学校関係者の評価

コロナ禍において、ほとんどの行事に参加することができませんでしたが、園のホームページやインスタグラムなどで子ども達が楽しそうに活動している様子を拝見しました。今後も引き続き情報の公開を積極的に行っていただくことにより、園・保護者・地域が一体となって子ども達の成長を見届けていけたらと思います。